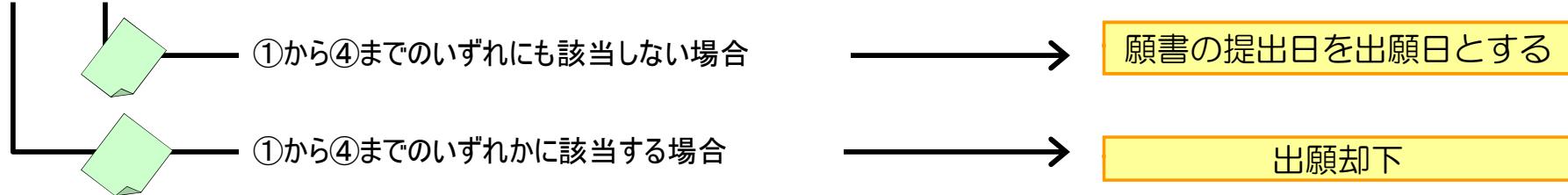


特許法条約への加入等を目的とした 特許法等の法令改正について

1. 特許出願日の認定と補完手続（特許法第38条の2）

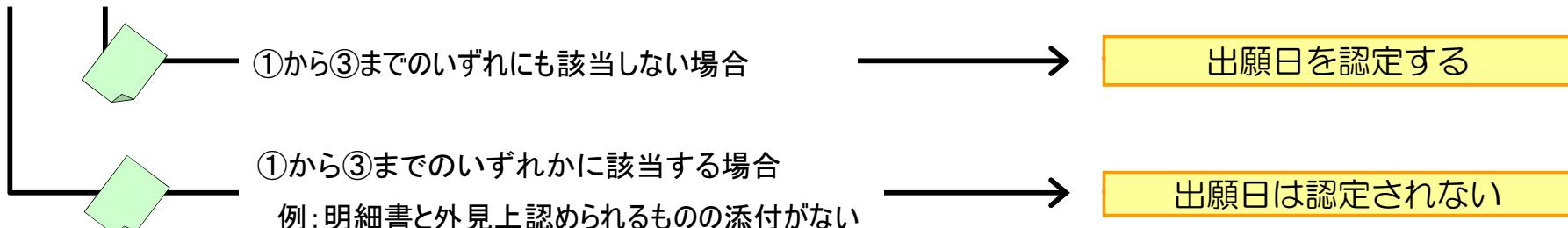
現行

- ①出願の種別が不明
- ②出願人を特定できる記載がない
- ③日本語で記載されていない（外国語書面出願を除く）
- ④明細書及び特許請求の範囲の添付がない



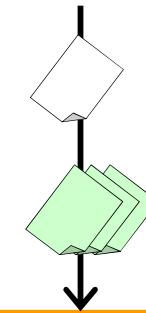
改正特許法施行後

- ①特許を受けようとする旨の表示がない
- ②出願人を特定できる記載がない
- ③明細書であると外見上認められるものの添付がない



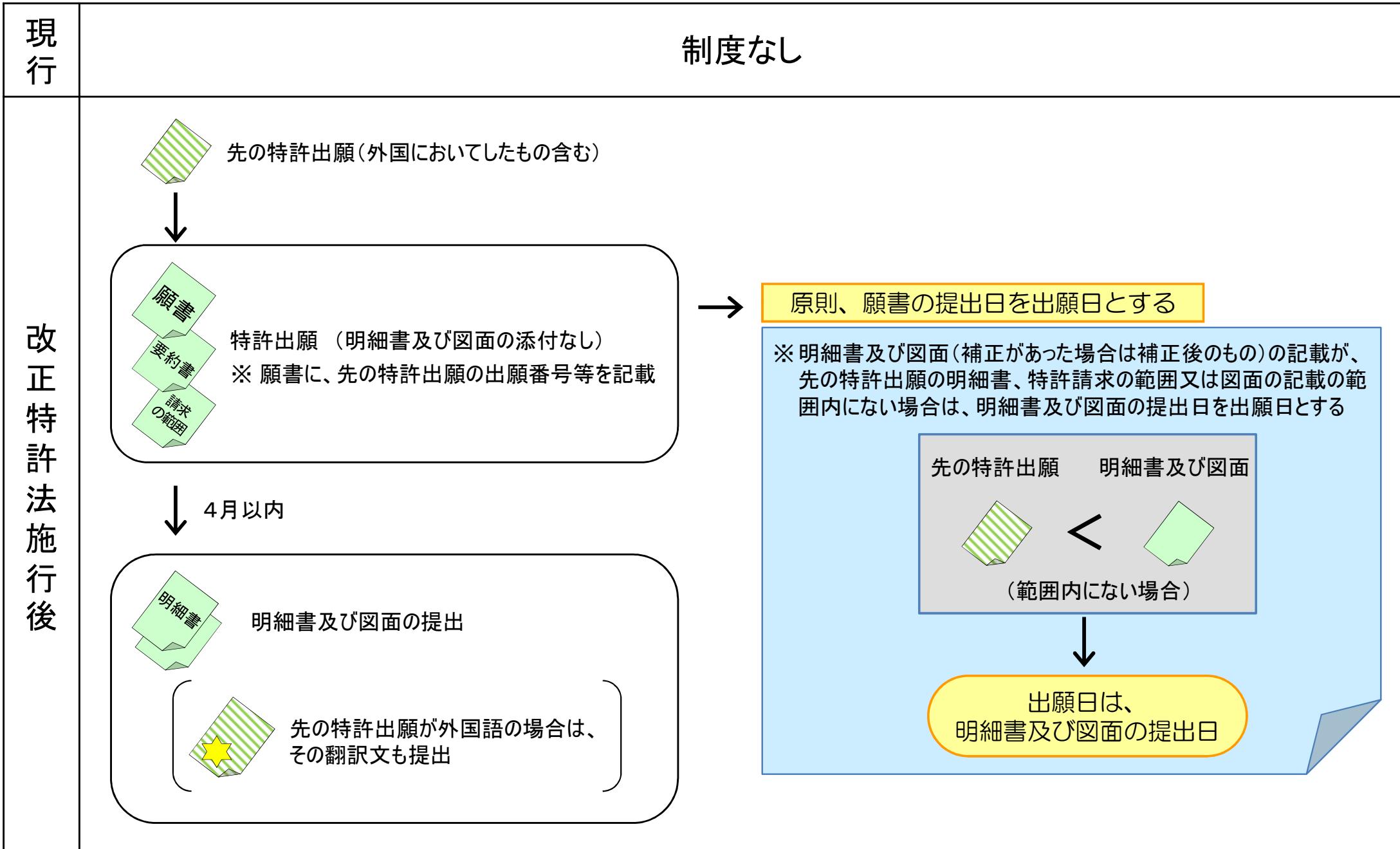
補完することができる旨の通知

手続補完書の提出
例：明細書を提出
※通知から2月以内



手続補完書の提出日を出願日として認定する

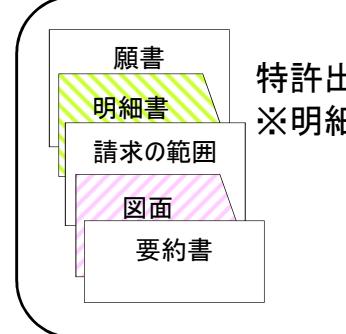
2. 先願参照出願（特許法第38条の3）



3. 明細書又は図面の欠落の補完（特許法第38条の4）

現行

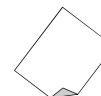
制度なし



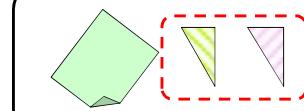
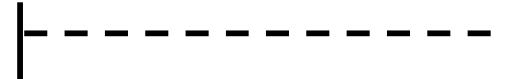
特許出願した日を出願日と認定する

改正特許法施行後

明細書又は図面の一部が欠けていることを発見
例：明細書の第3頁が抜けている



欠落を補完することができる旨の通知



例：明細書等補完書を提出
※通知から2月以内（注）

補完書の提出がない場合

※欠落部分は、明細書及び図面の一部を構成しない

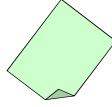
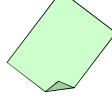


※補完された欠落部分は、明細書及び図面の一部を構成する

原則、明細書等補完書の提出日を出願日として認定する

（注）特許出願した日から2月以内は、通知がなくても、出願人が自発的に欠落を補完することもできる。

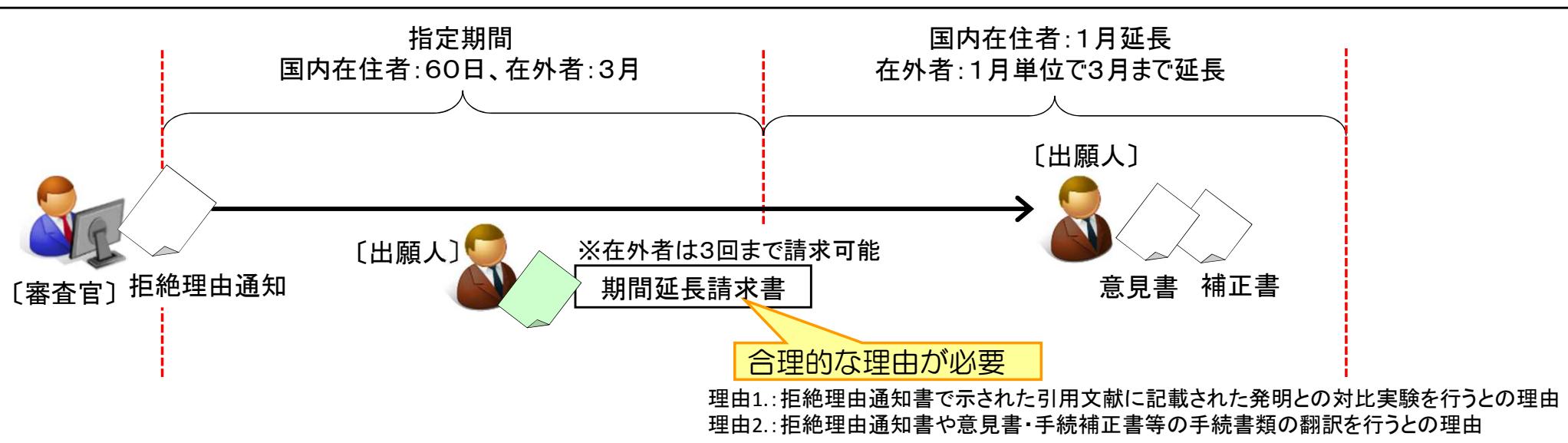
4. 明細書の言語(外国語書面出願) (特許法施行規則第25条の4)

現行	 外国語書面の言語は英語のみ
改正特許法 施行規則 施行後	 外国語書面の言語は問わない

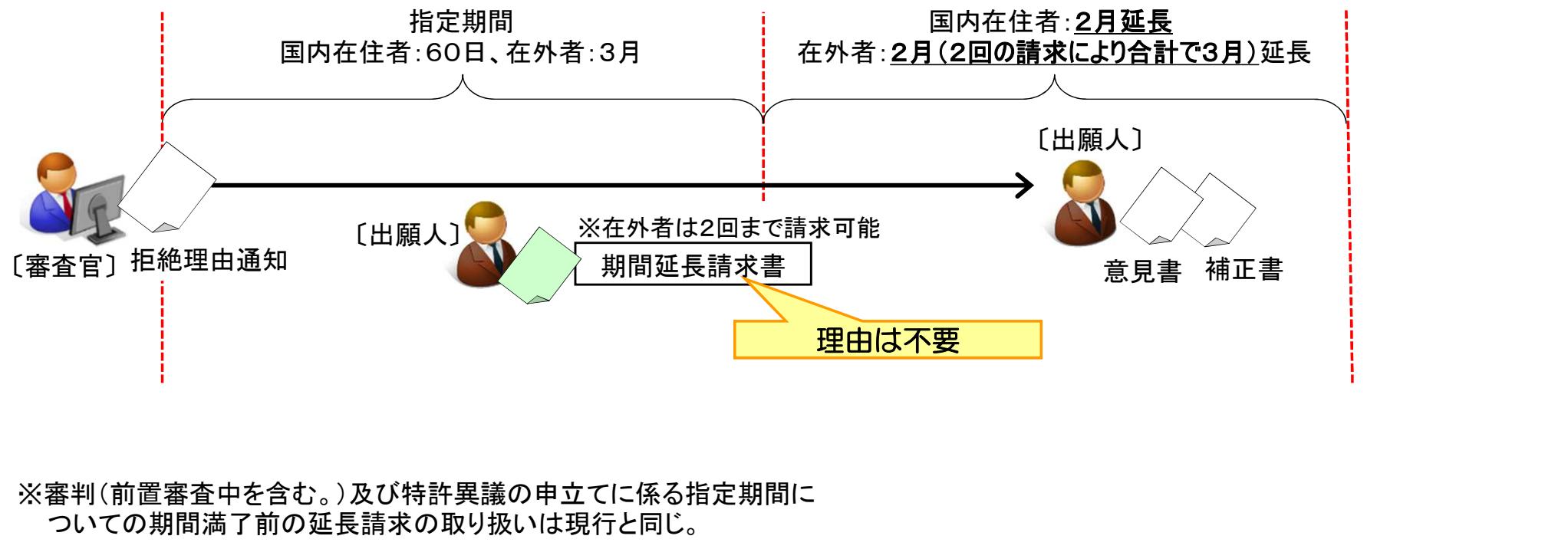
※ 改正特許法等施行後の内容には、省令(現在準備中)で定める事項が含まれている。

5-1. 指定期間満了前の期間延長請求(拒絶理由通知関係) (特許法第5条)

現行



改正特許法施行後



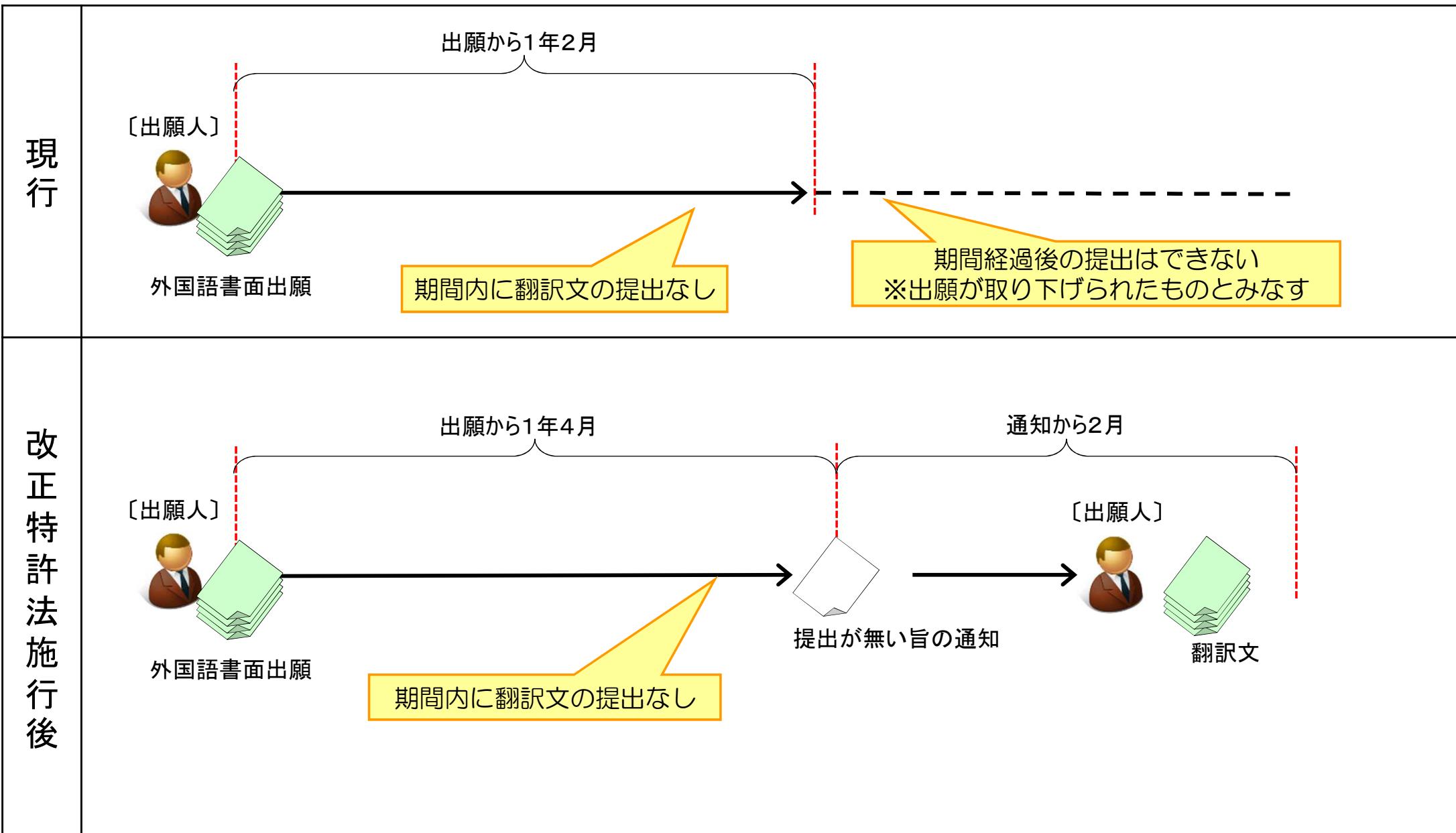
※ 改正特許法等施行後の内容には、省令(現在準備中)で定める事項が含まれている。

5-2. 指定期間経過後の期間延長請求(拒絶理由通知関係) (特許法第5条)

現行	制度なし
改正特許法施行後	<p>The diagram illustrates the change in the system for extension requests after the Patent Law is amended.</p> <p>Current System (Top Row): Shows a single horizontal arrow pointing from the 'Refusal Reason Notification' (審査官 拒絶理由通知) to the 'Extension Request' (期間延長請求).</p> <p>Amended Patent Law System (Bottom Row): Shows a more complex process:</p> <ul style="list-style-type: none">Refusal Reason Notification: The notification period is specified as 60 days for domestic residents and 3 months for non-residents.Response Period: A yellow box indicates "Answer within the period • Extension request not made".Extension Request Period: A bracket indicates the "Extension Request Possible Period = 2 months".Requester (Applicant): Represented by a person icon holding a document labeled "Period Extension Request Form (Period Lapse)" (期間延長請求書 (期間徒過)).Supporting Documents: Icons for "Opinion Document" (意見書) and "Correction Document" (補正書) are shown.Notes: A yellow box specifies "For domestic residents and non-residents, one extension request is possible for 2 months". Another note states: "• Extension reason is unnecessary • If extension is made before the period ends, extension requests after the period end are not possible".Exclusions: A note at the bottom states: "For examination (including preliminary examination) and patent opposition applications, extension requests are not subject to the period after the period end."

※ 改正特許法等施行後の内容には、省令(現在準備中)で定める事項が含まれている。

6. 要件不備に対する通知(外国語書面の翻訳文の提出) (特許法第36条の2)



優先権証明書の提出(特許法第43条)についても同様の措置を行う。

※ 改正特許法等施行後の内容には、省令(現在準備中)で定める事項が含まれている。